

～ひきこもり整体師のひとりごと～

令和6年7月第33回

自己紹介:楠永洋介

小学校3～4年を不登校、次いで中学校1年2学期～2年生を不登校、義務教育期間中は正味5年程しか登校していません。定時制高校を卒業後、進学、卒業を拒否して祖父の遺したお金でネットスクールや、ワークショップ、FXなどを経験してお金を溶かしました。なんやかんやあって結婚後、2人の子供を授かる。現在、農業、整体業、塾講師等で生計を立てる。

皆様お久しぶりです。楠永です。今月のひとりごと始めていきます。よろしくお願いたします

先ほど迄家の中をひっくり返して片付けをしておりました。理由は簡単で、失せ物をしたから。私が片付けをするのは、物に囲まれるストレスが閾値に達した場合か、失せ物をした時だけで、日常的に片付け、掃除に関する事をするのは総じて苦手なのです。失くしたものが、非常に大切、かつ人から預かっていたものだけに、今回は非常に焦りました。こうなると単なる片付けというよりも搜索と言って差し支えないでしょう。

この文章書き下している時、私は祖母の文体、というか祖母ならどうかしらという有り体に言えばイタコになったつもりで携帯電話を撫で(スワイプし)ております。イタコになったことはないので本当にそうなのかは分かりませんが。

私の祖母は間違っても私のような失せ物をしたり、抜かりを起こすような人には見えませんでした。私が小学校二年生の時に、くも膜下出血を切っ掛けとする闘病生活とその慎ましく品ある人生に幕を閉じました。

今にして思えばまた色々と話したいこともあるのですが、それは無理な話で、だからこそもっと話してみたかった、長生きして欲しかったなあ。というとりとめの無い希望をポンヤリ抱くものです。

人はいずれ死にますね。こればかりは致し方無いことかと思えます。死ななければ、今以上に人は人をぞんざいに扱う事でしょう。道具の値段が下がり、壊れたなら新しい道具と取り替えれば良いというある種の半永久的とも思える道具に囲まれた時代に生まれた人達がそうするように。

さっきのように失くし物をして困っている私と祖母はどう関わるのでしょうか？一緒に探してくれるのでしょうか？暖かい飲み物を用意して休憩を促すのでしょうか？言葉少なに核心を突き、私のだらしなさをたしなめるのでしょうか？どれにしても私は祖母の優しさに笑ってしまいそうです。

私は自分が修理が好きだと最近気付き、壊れたものを見るとなんだかほおって置けない気持ちになっている事にも気付きました。コスパ、タイパが叫ばれる世にあって、修理と

いうのはあまりにも合理的でなく、あまつさえ愚の骨頂という向きまであるでしょう。私が服を修理したり、洗濯かごを修理したりしているのを見ればとある人は「よほど高い服なのだろう」とか「新しい物を買うお金が無いのだ」と思う人もあるでしょう。自分が修理好きと気付いてからこのモヤモヤの正体が何となく分かった気がします。

私は「消費」という活動がきらいなのかも知れません。大事にすればまだまだ頑張ってくれる物たちをおいそれと棄てることに抵抗を感じているようです。そんな事を言葉に出来ていない頃、妻に「あなたは物を大事にしているんだよ。それは素敵なことだよ」と言ってもらい、えもいわれぬ気持ちになったことを今にして思い出します。

断捨離やミニマリストがひとつの生き方として市民権を得て久しいですが、私には無理なようです(笑)あれも大事、これも大事。という性分ではそこに至る道は険しいばらの道でしょう。

能登半島地震の被災者が荒れた自宅の片付けをボランティアの方と一緒にしているニュースが流れていました。ボンヤリと見ていると軽トラックに山積みされた瓦礫の中に壊れてはいない数寄屋門の美しい引戸が積まれているのに目が止まりました。軽トラックを泣きながら見送る家人の方を見て「技術が無くなる。というのはこんなにも悲しいか。」と一人陰鬱な気持ちになりました。その家人と共に生きた引戸ひとつがこんなにも哀愁をさそうのかと驚きました。鑿と鋸と鎚、釘でもあれば簡単に姿を変えてやって、また共に生きていく事もできたでしょう。でも今となってはそれは難しい話です。diy や、日曜大工、縫い物、おかし作り、その他諸々は『趣味』になって、生活から解離した風に見えます。そんな時代にあって生活に自分の手が入ることはその出来映え等は全く関係なく、ありがたく、大事な事だと改めて思うのでした。

御案内

感想、質問頂けると励みになります。また仕事の依頼（整体等）頂けると生きる糧になります。整体に関してはホームページ等覗いて見てください。

緑陰整体指導研究室

ホームページ

<https://ryokuinseitai.business.site/>

ご意見、ご感想、ご依頼は下記にお願いいたします。

電話番号

090-4979-6409

メールアドレス

ryokuin.seitai@gmail.com